令和八年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

国語

1 / 10 枚中

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。句読点は字数に含む。

第一問題 各問に答えよ。

問1 次の漢字に関する問に答えよ。

- (1) 次のア、イの傍線部の漢字の読みをひらがなで答えよ。
ア 栄養が偏_レっている食生活。
イ 辞書の凡例_レをすべて読む。
- (2) 次のア、イの傍線部で示したカタカナを漢字で記せ。
ア あれこれとセンサク_レされる。
イ ホウカツ_レ的にとらえる。
- (3) 「敗」の部首名をひらがなで答えよ。

問2 次の語句に関する問に答えよ。

- (1) 構成(組み立て)が他と異なるものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。
A 意気消沈 B 非常事態 C 用意周到 D 終始一貫 E 大器晩成
- (2) 「いろんな」と同じ品詞のものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。
A 穏やかな B 大事な C 広大な D 平坦な E 大きな
- (3) 四字熟語「不俱戴天」の意味として、最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。
A 運命をかけて大勝負をすること。
B 恨みや憎しみが深いこと。
C 自分が優れているとうぬぼれること。
D 予想外の結果になること。
E 目標達成のために努力を重ねること。
- (4) 行書で書かれた文字と同じ文字を楷書で書いた場合と比較して、その特徴としてあてはまらないものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

実雲学秋葉

- A 実…筆順の変化 B 雲…点画の省略 C 学…点画の連続
D 秋…点画の省略 E 葉…筆順の変化

問3 書名とその作者の組み合わせとして、適当でないものをA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

- A 銀河鉄道の夜…宮沢賢治
B 破壊…島崎藤村
C 阿部一族…森鷗外
D 浮雲…樋口一葉
E それから…夏目漱石

第二問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。なお、設問の関係で本文を一部改訂している。

国
語

2
／
10
枚
中

著作権等保護の観点から掲載いたしません。

著作権等保護の
観点から
掲載いたしません。

(山口裕之『みんな違ってみんないい』のか? 相対主義と普遍主義の問題』より)

問1 次の文は、傍線部①「かれらは、ヒョウがいないときにヒョウに対応する叫び声を発することはありません」について説明したものである。(1)〜(3)にあてはまる一語を、【過去 現在 未来】の中から選び、それぞれ入れよ。

・人間は(1)のことでなく(2)や(3)のことも言葉にできるが、動物は(1)のことに反応した声しか出せない。

問2 傍線部②「論理的に考えれば、これは非常に困難な課題です」とあるが、この「課題」とはどのようなことか。次の書き出しに続くように、四十五字以上、五十五字以内で説明せよ。

子どもに言葉を教えるとき、子どもは、()

問3 次の会話の(1)〜(3)に適切な語句を入れよ。ただし(1)は本文より十五字で抜き出して書くこと。(2)は十字程度で書くこと。(3)は五十五字以上、六十五字以内で書くこと。

はるな サバンのベルベットモンキーが、天敵によって鳴き声を鳴き分けているなんて驚いたわ。仲間もその鳴き声を聞き分けて、どの敵がいるのか判断して最善の行動をとるのね。

なつお でも筆者は、その鳴き声は、仲間に敵の存在を伝えようとしているものではなくて、(1) ()ものだと云っているよね。

あきと そうだね。ベルベットモンキーが、仲間の鳴き声を聞き分けることができるのは、普段目の前に敵が現れたときに(2) ()からなんだ。

ふゆこ 例えば、私がベルベットモンキーの前で「ヒョウー」と声を出して危険を教えようとしても、彼らに伝わらないのは、人間の言葉が理解できないということ以前に、彼らには(3) ()ということなのね。

問4 この文章の各段落の役割の説明として最も適当なものをA〜Eから選び、記号で答えよ。

A 第一段落では動物の鳴き声に対する筆者の見解を示し、第二段落から第四段落では、そのような見解を持つに至った経緯を説明している。

B 第三段落にある「動物の言語」の具体例は、第十二段落で述べていること具体例にもなっている。

C 第五段落では、第二段落で提示した見解が修正を必要とするものであることを指摘し、以降、修正を加えていく。

D 第七段落では、言語を学ぶに必要なことについて、筆者独自の見解を示し、以降、その解説を行っていく。

E 第十段落、第十一段落、第十二段落は、動物の言語が人間の言葉と比較すると、いかに劣ったものであるかを述べている。

第二問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の関係で本文を一部改訂している。

著作権等保護の観点から掲載いたしません。

国
語

4
／
10
枚
中

国
語

5
／
10
枚
中

著作権等保護の観点から掲載いたしません。

(幸田文『おとうと』より)

*1…普通の乗客は停留所で停止している車両に乗り降りするが、この時代の路面電車は、一部に屋根と床のみで壁のない部分があり、走行中の路面電車のその部分やステップに走ってきて飛び乗る客がいた。

問1 次の問に答えよ。

(1) 傍線部①「翼を納めて木の洞うまのなかへはいって行く鳥のように飛び乗ってしまった」に用いられている修辞法として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A 擬人法 B 倒置法 C 直喩 D 陰喩 E 換喩

(2) 傍線部②「見据えたという見かたで見た」について、このときの碧郎の心情についてふさわしくないものを一つ選び、記号で答えよ。

- A 姉がなんと言おうが、自分や仲間のしたことを絶対に認めないでいようと思っている。
 B 姉が身に覚えのない言いがかりをつけてくるので、とても腹立たしく思っている。
 C 姉がどこまで知っているのか分からないので姉の出方を探ろうと思っている。
 D 姉は本屋にいたわけではないので、言い逃れができるだろうと思っている。
 E 姉に自分たちの本屋での悪事がばれていないか、内心は動揺している。

(3) 傍線部③「どなられたら蓋が飛んだようにすっかり碧郎のなかが見えた」とはどういうことか、三十字以上、四十字以内で説明せよ。

(4) 傍線部④「それ」が指し示す内容を答えよ。

問2 次の【資料】はこの小説を読んだ生徒の会話である。資料を読み、次の問に答えよ。

【資料】

ちひろ げんは本当に弟思いだね。
 なつき 弟を心配する気持ちが強いからか、正面からぶつかっていったよね。
 ちひろ だから、お互い感情的になってしまったのかもね。
 なつき いきなり、飛び乗りのことを切り出さず、「今日、学校は何時ごろ終わったの？」くらいから始めて、様子を探っていけば、お互いに、ここまで感情的にはならなかったと思うんだけど。
 ちひろ げんがここまで弟のことを心配するのは、「 I I 」という思いもあるからじゃないかなあ。
 なつき 確かに、「じれったいまぬけなおとうさんかあさんだ」と両親に不満を述べていることから、そうだと思う。
 ちひろ それなのに、碧郎はげんを避けるようになり、げんは「みじめに情ない思いをしている」なんて、かわいそうだな。
 なつき このことで「距離ができてしまった」二人、これからどのようになっていくんだろうね。

(1) 「 I I 」にあてはまるげんの気持ちを四十字以上、五十字以内で書け。

(2) 二重傍線部「距離ができてしまった」とあるが、距離ができる前のふだんの二人の関係がよく表されている表現を本文中から十一字で答えよ。

第四問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。

丹波少将藤原成経の父、大納言藤原成親は、後白河法皇の側近であり、平家打倒をもくろんだ鹿ヶ谷事件の首謀者として備前国に流され、処刑された。息子の少将成経は俊寛僧都、康頼入道とともに鬼界が島に流されたが、その後、平清盛の娘である中宮徳子の安産祈願のための恩赦により、都へ帰ることとなった。

少将はしうと 平宰相の宿所へ立入り給ふ。少将の母うへは、靈山におはしけるが、昨日より宰相の宿所におはしてまたれけり。少将の立入り給ふ姿を、一目みて、「命あれば」とばかり宣ひて、引きかづいてぞ臥し給ふ。宰相の内の女房、侍共、さしつどひて、みな悦泣共しけり。まして少将の北の方、めのとの六条が心のうち、さこそはうれしかり「ア」。六条は尽きせぬ物思に、黒かりし髪も、みな白くなり、北の方、さしも花やかにうつくしうおはせしかども、いつしかやせ衰へて、其人ともみえ給はず。ながされ給ひし時、三歳にて別れしをさなき人、おとなしうなッて、髪結ふ程なり。又其そばに、三つばかりなるをさなき人のおはしけるを、少将、「あれはいかに」と宣へば、六条、「是こそ」とばかり申して、袖をかほにおしあてて涙をながしけるにこそ、さては下りし時、心苦しげなる有様を見おきしが、事ゆゑなくそだちけるよと、思ひ出でても、かなしかりけり。少将はもとのごとく院に召しつかはれて、宰相 中将にあがり給ふ。康頼入道は、東山双林寺に、わが山庄のありければ、それに落ちついて、先づ思ひつづけけり。

③ ふる里の軒のいたまに苦むして思ひしほどはもらぬ月かな
やがてそこに籠居して、うかりし昔を思ひつづけ、宝物集といふ物語を書きけるとぞ聞えし。

〔平家物語〕巻第三 少将都帰より

(注) *1 平宰相……………少将の舅で、宰相である平教盛。

*2 靈山……………靈鷲山。京都東山三十六峰の一つ。高台寺の南東の山。

*3 引きかづいて……………衣を引きかぶつて。

*4 心苦しげなる有様……………(妊娠中の北の方の)心苦しげな様子。

*5 院……………後白河法皇。

*6 宝物集……………鎌倉時代の仏教説話集。

問1 「ア」に入る語として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A き B けめ C べし D めれ E らし

問2 傍線部①「さしも」の現代語訳として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 昔も B 同様に C いつも D 今までも E あんなにも

問3 二重傍線部a「申し」が敬意を表す人物をA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 六条 B 少将 C 母上 D 北の方 E 院

問4 次の会話文は傍線部②「かなしかり」についての先生と生徒の会話である。「Ⅰ」、「Ⅱ」にあてはまるようにそれぞれ二十五字以上、三十五字以下で答えよ。

やよい 先生、「かなし」を辞書で引いたら「愛しい」と「悲しい」の二つの意味がありました。
 先生 そうですね。少将成経の気持ちを考えたとき、「愛しい」と「悲しい」の二通りの捉えができますね。みなさんはどちらだと思いますか。
 やよい はい。私は少将成経の、「Ⅰ」を愛しく思う気持ちだと思います。
 先生 もう一つの悲しい気持ちについて説明できる人はいますか。
 さつき はい。私はこう思います。少将成経の、「Ⅱ」を悲しく思う気持ちだと思います。
 先生 やよいさんも、さつきさんも、どちらもいい解釈ですね。

問5 傍線部③の和歌が「逆説的、自嘲的」と言われている理由を次のように文章にまとめた。「Ⅰ」に十字以内の言葉をを入れて文章を完成させよ。

・傍線部③の和歌が、逆説的、自嘲的と言われるのは、「山荘の軒板は傷んですき間があり、そこから「Ⅰ」はずなのに、板に苔が生えているのですき間が埋まっている。」ことを歌に詠んだからである。

第五問題 次の文章を読み、後の問に答えよ。なお、設問の関係で返り点・送り仮名・符号を一部省略している。

春秋末期、晋は事実上、有力貴族の范氏・中行氏・智氏・趙氏・魏氏・韓氏の六氏により支配され、六氏は勢力争いを繰り返した。范氏・中行氏が滅んだ後、最も強大な力を持った智氏は、韓氏・魏氏と手を結び、趙氏の軍を包囲した。

趙襄子使_下張孟談潛出見_上二子曰。「臣聞、『唇亡則齒寒』。今、智伯帥_二韓・魏以攻趙。趙亡則韓・魏為_二之次矣。」二子曰、「我心知其然也。恐事未_{シテ}遂_レ而謀泄則禍立_チ至矣。」張孟談曰、「謀出_ニ二主之口入_ニ臣之耳。」何傷也。」二子乃_チ潛_{カニ}与_ニ張孟談約、為_ニ之期日而遣_{ラシム}之。襄子夜使_下人殺_シ守隄之吏、而決_{シテ}水灌_中智伯軍。智伯軍救_レ水而乱。韓・魏翼_{シテ}而擊_ツ之。襄子將_{ヒキイテ}卒犯_ニ其前、大敗_リ智伯之衆、遂殺_{シテ}智伯、**尽**滅_{ボス}智氏之族。

(司馬光『資治通鑑』より)

- (注)
- *1 趙襄子……趙氏の当主。
 - *2 張孟談……趙襄子の家臣。
 - *3 二子……韓氏の韓虎と魏氏の魏駒のこと。
 - *4 智伯……智氏の当主。
 - *5 犯其前……正面から攻撃する。

問1 囲み部 a「乃」、b「尽」の読みを送り仮名も含めて書け。

問2 傍線部①「齒」とは、ここでは何をたとえているのか、書け。

問3 傍線部②「謀」とは、ここではどのようなことか。三十字以内で書け。

問4 傍線部③「何傷也」の意味として最も適当なものを A～E から選び、記号で答えよ。

- A 誰も負傷することはありません。
- B 不義理だと悩む必要はありません。
- C 何も心配することはありません。
- D 決して人に漏らしてはいけません。
- E 言い出したのは自分ではありません。

国
語

10
／
10
枚
中

問5 趙氏は、「唇亡ぶれば則ち齒寒し」という表現によって、どのようなことを言おうとしたのか。次の生徒の会話を参考にして、五十字以上六十字以内で説明せよ。

あかね 趙氏は、窮地に追い込まれながら、見事、形勢逆転を図ったよね。韓氏・魏氏にとっては、趙氏を滅ぼす絶好のチャンスだったはずなのに。

さとる そうだね。この「唇亡ぶれば則ち齒寒し」という言葉は、韓氏・魏氏に考えを変えさせるだけの説得力があったんだろうね。

まゆこ 韓氏・魏氏も「我ら心に其の然るを知るなり」と言っているように、自分たちの置かれた状況に気が付いてはいたんだろうね。趙氏からずばり指摘され、心が動かされたんじゃないかな。